

輸出事業計画

※申請者名：愛媛かんきつ輸出促進協議会

品目：かんきつ、かんきつ加工品

1. 輸出における現状と課題

現状)

30年程前から行われている有機かんきつの生産販売は、ロット確保の問題から生産者毎の独自ルートに限られ、品質（味・見栄え）についても生産者毎にバラつきがある。輸出についても、必要ロットの確保、品質基準の統一、6次産業化の設備投資（加工設備）、デザイン・マーケティングなど専門的人材不足、耕作放棄地問題の解決は、個々の生産者では取り組むことができない。

課題) 輸出産地生産基盤強化

1. 生産効率向上と輸出に必要な生産量の確保

協議会生産者間で連携し輸出拡大を図るために必要な生産・出荷体制、作柄安定技術や通年集荷体制、また加工原料用向けの設備が整っていない。

2. 品質基準の統一

協議会生産者間で統一した品質基準や品質管理が必要である。

3. 新規就農者の育成

農産物の輸出を拡大定着していくためには「輸出向け産地」の構築が必要であるが、実現のための新しい発想で農業に挑める新規就農者の育成が必要である。

4. 新規需要の発掘と販路拡大

現在は限られた販売ルート（個々の生産者の（国内）独自販売ルート）のみで、新規需要発掘や消費者ニーズに合った販売先の確保と商流の確立が必要である。

5. かんきつ加工品の開発

現地消費者ニーズに対応したかんきつの加工品の開発が必要である。

6. 情報収集と情報発信共有

情報発信やPR不足によりデータ共有と蓄積ができておらず、有機かんきつの優位性や付加価値向上のための教宣、啓蒙活動につながない。

輸出事業計画

※申請者名：愛媛かんきつ輸出促進協議会

品目：かんきつ、かんきつ加工品

2. 輸出事業計画の取組内容

課題への取組内容)

1. 生産効率向上と輸出に必要な生産量の確保への取組

- ・品種別の最適な有機栽培方法のデータの蓄積と共有。
- ・収量安定が期待できる品種への改植・新植
- ・耕作放棄地の再生畑を活用した高生産効率・高付加価値品種の集約生産。
- ・加工設備（洗浄、充填、保存）のテスト導入。

2. 品質基準統一（地域差解消）への取組

- ・カーボンファームによる成長促進効果試験、バイオスティミュラント資材散布、果実の鮮度保持試験。
- ・生果、加工品の管理基準策定。

3. 新規就農者の育成の取組

- ・農業スキルアップ講座の開催
- ・先進地域との交流、地域連携を通じた地域活性化。

4. 新規需要の発掘と販路拡大への取組

- ・有機かんきつに関心の高い市場（小売店や代理商）との関係性の構築。
- ・輸出対象国の市場動向、消費者ニーズ、競合状況などを調査。
- ・展示会出展、バイヤー招へい、商談会開催等を組み合わせた販路開拓。

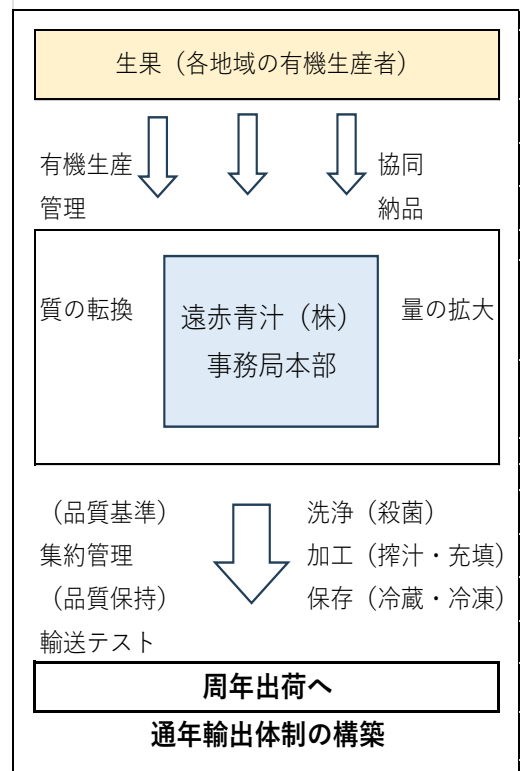
5. かんきつ加工品開発への取組

- ・長期保存が可能な加工品の製造推進と商品ラインナップの拡充（サイズ展開、加工形態等）。

6. 情報収集と情報発信共有への取組

- ・ターゲット国における有機かんきつのマーケット調査及びブランディング。
- ・HPやSNS（インスタグラム）を通じた海外へ旬な情報を情報発信。

■事務局本部での生産・出荷体制イメージ図



輸出事業計画

※申請者名：愛媛かんきつ輸出促進協議会

品目：かんきつ、かんきつ加工品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

愛媛かんきつ輸出促進協議会／輸出推進実施体制図

愛媛県農林水産部 食ブランドマーケティング課

輸出に関する助言

ブランド化に関する助言

遠赤青汁（株）

（有）遠赤農園

西南セーフティグループ

清五郎農園

有機JAS取得 農産物の生産と販売
かんきつ加工 レモン(機能性表示食品)

農産物の生産

有機JAS取得かんきつの生産と販売
加工ジュース販売

農産物の生産と販売
加工ジュース販売

本部事務局／経理

生産者連携・輸出産地の拡大

外部サポート体制

加工品の開発・製造
愛媛県内事業者

輸出支援プラットフォーム

連携

(株)グローブ 全体コーディネート・調整

ワイズアグリ 生産者への技術指導・試験

MOMONO TRADING
／事務局サポート海外プロモーション支援

代理商／海外百貨店・スーパー等への展開

4. 輸出目標額

■ 輸出目標額と市場

品目		現状（令和6年度）	目標年（令和8年度）
かんきつ	輸出額（千円）	1,400	3,200
	輸出量（kg）	2,000	4,000
	輸出先国	台湾	台湾
品目		現状（令和6年度）	目標年（令和8年度）
かんきつ加工品	輸出額（千円）	-	800
	輸出量（kg）	-	960
	輸出先国	-	台湾・米国